

9月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/09/01 (月)	東京はリターンが米石油施設にダメージを与えるとの見方からドル売り先行。ただ英紙の報道で反転。欧州は福田首相辞任の報で始まるも影響一時的。米休場で薄商いのなか英財務相発言でポンド急落。	・英テレグラフ「リマンが韓国産業銀行へ最大60億ドルの出資を仰ぐ方針」 ・福田首相が辞任を表明 ・NY市場が休場	・英財務相「英経済は過去60年間で恐らく最悪の下降局面に直面」 ・ユーログループ議長「ユーロは依然過大評価されている」 ・独財務相「人民元は対ユーロでさらに上昇するべき」	108.45 108.68 107.62 108.05	159.40 159.62 157.55 157.92	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/02 (火)	東京は前日から一転原油価格が弱含みになったことでドル買い優勢。日情勢にらみつユーロは弱い。欧米は原油がさらにしたことでドルも続伸。ただ発表された米経済指標は悪く終盤は利食いにおされる。	・豪中銀が0.25%の利下げ実施 ・9/15実施予定のEUとロシアの新パートナーシップ協定交渉延期へ ・8月の米ISM製造業景気指数49.9、7月建設支出 0.6%	・韓国企画財務次官「韓国政府は一方的なウォン売りに対処する」 ・米公定歩合議事録「シカゴ、カンサス、ダラス連銀が0.25%の利下げ要請」 ・マクロ-リミ財務省報道官「財務長官はGSEの動向を注視」	108.06 109.19 107.93 108.61	157.57 158.45 157.00 157.70	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/03 (水)	東京は時間外取引における原油安止まらず、ドル高も継続。ドル/円は再び109円台へ。欧米はドルがやや冴えない。米景気に対する弱気な見通しが嫌気された。なおポンドは大幅続落へ。	・第2四半期ユーロ圏GDP改定値0.2% ・7月の米製造業受注1.3% ・米地区連銀報告「米経済活動は鈍化した」 ・加中銀が金利据え置きを決定	・豪財務相「豪州経済はこの25年でもっとも厳しい状況に直面」 ・ボストン連銀総裁「失業率は6%以上に上昇する可能性」	108.47 109.09 108.11 108.30	157.15 158.04 156.26 157.00	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/04 (木)	東京は引き続き原油相場に左右される展開。リマンの進路などに一喜一憂、激しい上下動をたどった。欧米は米雇用統計に対する悪化懸念などからドルが独歩安。NYダウも300ドル以上下げ、ドル安を支援。	・BOEが金利の据え置きを決定 ・ECBが金利の据え置きを決定 ・8月の米ADP全米雇用報告 3.3万人、同ISM非製造業指数50.6、第2四半期非農業部門労働生産性4.3%、同単位労働コスト 0.5% ・8月米失業率6.1%、同非農業者雇用数 8.4万人	・ECB総裁「経済成長の下方向力は拡大」 ・ユーログループ議長「ユーロは依然として過大評価」 ・SF連銀総裁「次の金利変更は引き上げを予想」	108.33 108.58 106.97 107.10	157.24 157.95 153.26 153.42	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/05 (金)	早朝のポンドなど早い時間帯に円買い殺到。105円台を見るもその後の東京には107円台まで急反発。欧米は大荒れ。米雇用統計に対する失望で再びドル売り殺到。しかしWSJ報道で流れ一変、高値引け。	・米政府がファニーメイとフレディマックを公的管理下に置くことを発表	・NYタイムズ「人民銀行保有の米ドル建て資産が減価、過小自己資本が際」 ・露中銀「ドル下支えで4日に大量の外貨を売却」 ・WSJ「米財務省はGSE支援策を週末にも発表」	106.54 107.74 105.53 107.74	151.94 153.72 150.64 153.72	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/08 (月)	東京は米政府による「サウダー-サブライズ」を単純に好感。早朝時間外の108円レベルから109円台へ。欧米は米政府による支援策は抜本的な解決にならないとの見方が台頭し、ドル売り巻き戻し優勢に。	・米政府がファニーメイとフレディマックを公的管理下に置くことを発表	・米上院銀行委員長「急なGSE支援策決定について公聴会を求める」 ・米財務長官「住宅市場が安定するまで市場混乱は続く見通し」 ・ダラス連銀総裁「米経済は向こう数四半期弱い見通し」	108.62 109.08 107.74 108.27	155.91 157.02 151.68 152.96	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/09 (火)	東京は加元を中心とした円買い先行。それに連れる格好でドル/円も大幅な円高へ。欧米はリマンブラザーズに対する流動性懸念が台頭しドル売りへ。NYダウが200ドル以上下げたことも嫌気。	・S&Pがリマンブラザーズに指定、格下げの可能性示唆 ・7月の米住宅販売保留 3.2%、同卸売在庫1.4% ・韓国産業銀行がリマンに出資協議が不調で終了、との一部報道あり	・アルムニア欧州委員「金融混乱は予想より長期化」 ・連邦議会予算事務局「09年会計年度の財政赤字は4380億ドルに達する見通し」	108.04 108.18 106.67 106.80	152.74 153.55 150.68 150.94	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/10 (水)	東京はリマンに絡む報道や噂をめぐり右往左往。ユーロはトリシェ発言を好感し買い進まれる。欧米はリマンの決算内容を嫌気しドル売りスタート。しかし米株が予想以上に底堅く、ドルも反発へ。	・7月の経常収支1兆5318億円、8月の国内企業物価指数 0.1% ・OPECが実質的な減産で合意 ・韓国産業銀行がリマンに6兆ウォン出資、その後交渉は終了との報道あり ・リマンが決算発表	・ECB総裁「短期金融市場には引き続き緊張みられる」 ・欧州委員会経済見通し「ユーロ圏のインフレはピークを打った可能性」 ・ユーログループ議長「ユーロは依然として過大評価」	106.97 107.94 106.58 107.70	150.76 152.50 150.15 150.78	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/11 (木)	東京でもっともアクティブに動いたのはNZドル。予想外の利下げに加え、追加利下げ示唆でNZドルは急落。欧米は引き続きリマンの動向をにらんだ展開。関連で救済的なFRB緊急利下げの噂も聞かれていた。	・NZが0.5%の利下げ実施、中銀総裁は追加利下げ示唆 ・7月の機械受注 3.9% ・7月の米貿易収支 622億ドル、対日 63.3億ドル、対中 248.8億ドル	・ブラチワフ-BOE委員「英経済は予想より激しい落ち込みになる」 ・WSJ「バンクアを含む複数銀行がリマン買収を検討」	107.42 107.60 106.07 107.16	149.72 150.47 147.52 150.00	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/12 (金)	東京はWP紙報道を期待したドル買い優勢。一方、円は対ユーロなどでも弱く独歩安商状。欧米は米経済指標悪化を受けた早期利下げ観測が嫌気されドル売り。ただ原油安からその後ドル買い。	・第2四半期GDP改定値 0.7% ・8月の米PPIは 0.9%、同小売売上高 0.3%、7月企業在庫1.1%、9月のミシガン大消費者信頼感指数73.1 ・NY原油が一時的に100ドル割れ	・WP「15日アジア取引前にFRBなどがリマン買収計画を発表予定」 ・独財務相「ドイツは景気後退に陥っていない」 ・ユーログループ議長「為替の過度の変動は好まず」	107.15 107.99 106.72 107.95	150.11 153.56 149.58 153.53	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/15 (月)	東京休場のアジアは薄商いのなか大荒れ。リマン救済が失敗し破綻が明らかになったことが嫌気された。欧米は保険大手AIGに対する危機が指摘されドル売り要因に。金融機関への信用不安が継続された。	・バークレイズやバンクアの買収不調に終わり、リマン連邦破産法申請へ ・中国が貸し出し預金金利を0.27%引き下げ ・9月のNY連銀指数 7.4、8月鉱工業生産 1.1%、設備稼働率78.7	・WSJ「米政府がAIG向け融資でGSやJPモルガンに750億ドル規模の融資ファシリティ要請」 ・S&P「クワンタム・チュアルの格付けをジャンク級に引き下げる」 ・BOAによるメキシコ買収が合意	106.36 106.70 104.53 104.67	152.28 152.78 148.55 149.09	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで